

学ぶ楽しさを
発見する
きっかけ作り

漢字検定で育まれるもの

結果だけじゃなく、
過程も評価しよう

学習塾であるリリーアカデミアでは、11月に漢字検定試験を実施しました。生徒一人ひとりの可否はともかく、皆本当によく頑張っていました。頑張っていたからこそ、全員合格して欲しいなああと心から思ってしまうんです。が、可否の結果よりも、もっと重要なことは、子どもたちが検定のためにどのくらい勉強をしたのかをしっかりと見て、評価してあげることです。

大人でもそうですが、子どもたちは特に、結果よりもプロセスである「がんばり」を評価してもらいたい。この傾向は勉強を好きか嫌いかに関わらず、多くの子どもに見受けられます。

塾には本当にいろんな子がやってきます。勉強が好きな子から、「勉強なんて大っきらい、勉強なんて無ければいいのにい」という子まで…。だから当塾では、「勉強が好きな子」には「あまり好きじゃない子」には少し楽しいかも？と思えるように。「大っ嫌いな子」には少しでも学ぶ楽しさを知ってもらい、嫌いだったけどちょっと楽しくなってきた！というように。少しでも

プラスになるような指導を心掛けています。

教育と共育と

今回は漢字検定を材料に国語力と「共育」について綴らせて頂きます。国語力を身につけるには「読書に勝るものはなし」かと思えます。けれども、読書自体をつまらないと感じてしまっているのは、言葉の意味が分からないからかもしれません。マンガは読めるのに、文庫などが読めないのは読解力の前に語彙力に問題があるから。マンガの場合は、語彙力を補う画があります。文庫には画がありませんから…。分らない言葉が読書を妨げるのは、一般の人が言葉の難解な哲学書を読まないのと同じです。

そんな、読書に欠かせない「言葉の意味」を学べるのが漢字検定の勉強。漢字の意味や成り立ちなど、言葉の知識

が漢字検定で鍛えられます。また、子どもたちは級取得という目標に向けて一生懸命学んでいき、合格すれば更に学ぶ意欲が湧く「プラスのスパイラル」が自然に生み出されます。すると、読書にも気が向き始め、おのずと国語力も培われていきます。こちらは国語力を高めるために漢字検定という素晴らしい教材を使用し、学びの楽しさもサポートするというわけです。

実際に学校のテストで30点〜40点もアップして、学習の面白みを知ったり、目標を達成する喜びを覚えたり、将来の目標を考えついたりするところがよくあります。何がきっかけとなるかは人それぞれですが、絶対に子どもたちは変わると信じていますし、実際に変わっていきます。このような姿を見てみると、自分も「頑張ろう」、「何か始めよう」という気になってきます。まさに「教育」をしながら共に育つ「共育」です。

私たちは生ある限り、様々な物から学び、気づかされます。だから、どんな子どもたちとも常に良い関係でいられるよう共に学び、刺激しあい、成長できるように、大きな愛情をもって柔軟に接する姿勢を心がけてます。

(教育事業部リリーアカデミア 高野正人)



029(233)6143

www.lilyacademia.com

一人ひとりの学ぶ力が伸びる、毎日が楽しい学習塾！
LA リリーアカデミア
Lily Academia

●水戸教室 (水戸市梅香 2-1-51) ●見和教室 (水戸市姫子 2-751-17)

- ・信頼と実績、リリーグループの学習塾
- ・パソコンだから実現できる、「わかりやすい」「楽しい」自立学習システム
- ・無料体験レッスン随時開催中！